

授業科目	認知症ケア	4 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		看護	選択

科目担当責任者	木島輝美 (保健医療学研究棟 E110 号) e-mail : yterumi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	長谷川真澄、池田望、鳥谷めぐみ、(未定)		
概要	認知症をもつ人が体験している世界および生活の特徴を理解し、パーソンセンタードケアなどの理論に基づく看護援助について学習する。また、認知症をもつ人とその家族、ケア提供者がかかえる倫理的諸問題について分析し、より良い意思決定の支援について学ぶ。		
到達目標	1. わが国の認知症ケアの変遷を理解し、看護の役割を説明できる。 2. 認知症をもつ人の体験を知ることの重要性を説明できる。 3. 認知症ケアに関する理論とその援助方法について説明できる。 4. 認知症をもつ人の家族介護者の特徴と支援について説明できる。 5. 認知症をもつ人のリハビリテーションの目的と概要を説明できる。 6. 認知症ケアにおける倫理的諸問題について考察できる。		
関連科目	疾病治療論 4、老年看護学概論、老年看護方法、老年看護実習 1、老年看護実習 2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	提出物	70%	提出物：事前/事後の学習課題(30%) およびレポート(40%)の提出状況と記載内容を評価する。 グループ学習：グループワークへの貢献度、成果物の内容を評価する。
	グループ学習	30%	
教科書	指定なし		
参考書	①矢吹知之、他著 [2021] 「認知症とともにあたりまえに生きていく：支援する、されるという立場を超えた 9 人の実践」 中央法規出版 ②丹野智文著 [2021] 「認知症の私から見える社会」 講談社 ③公益社団法人認知症の人と家族の会編 [2020] 「認知症介護の悩み引き出し 52 「家族の会」の「つどい」は知恵の宝庫」 クリエイツかもがわ ④鈴木みずえ、金盛琢也編 [2021] 「アセスメントフローで学ぶ パーソン・センタード・ケアに基づく急性期病院の高齢者看護」 日本看護協会出版会 ⑤長江弘子監修 [2021] 「認知症 plus 意思表示支援 日常生活の心地よさを引き出す対話事例」 日本看護協会出版会 ⑥大庭輝、佐藤真一著 [2021] 「認知症 plus コミュニケーション 怒らない・否定しない・共感する」 日本看護協会出版会		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	わが国の認知症ケアおよび政策の変遷と看護の役割	事後：配付資料の復習	講義	木島
2	認知症をもつ人が体験する世界	事前：認知症当事者の語りを読む 事後：配付資料の復習	講義・グループ学習	〃
3	パーソン・センタード・ケアに基づく看護援助	事前：パーソンセンタードケアについて調べる 事後：配付資料の復習	〃	鳥谷
4	認知症緩和ケア タクティールケア	事後：配付資料の復習	講義・演習	(未定)

5	認知症をもつ人のリハビリテーション	事後：配付資料の復習	講義	池田
6	認知症をもつ人の家族介護者の特徴と支援	事前：家族介護者の語りを読む 事後：配付資料の復習	〃	(未定)
7	認知症ケアにおける倫理的諸問題と意思決定支援	事前：実習での倫理的場面を振り返る 事後：配付資料の復習	講義・グループ学習	長谷川
8	認知症ケアにおける倫理的諸問題の分析	事前：配付資料を読む 事後：課題レポートに取り組む	グループ学習	長谷川・木島・鳥谷